

問1 東京都から各道県への旅客輸送に関する統計において、ある道県は鉄道の利用者が約19万人であるのに対し、航空機の利用者が約627万人と突出して多くなっています。この統計が示す道県の名称と、航空機の利用割合が極めて高い理由の組み合わせとして最も適切なものを次から選びなさい。（2022年 栃木県公立入試 類似）

- |   |  |  |   |
|---|--|--|---|
| 1. 道県名は北海道であり、東京都からの移動距離が長いこと、所要時間の短い航空機が優先的に選択されているから。 | 2. 道県名は新潟県であり、山岳地帯を通過する鉄道よりも、直線的に移動できる航空機の方が効率が良いから。 | 3. 道県名は北海道であり、青函トンネルが貨物専用となっており、旅客が鉄道で海を渡ることができないから。 | 4. 道県名は大阪府であり、ビジネス客の利便性を高めるために航空路線の便数が鉄道の運行本数を上回っているから。 |
|---|--|--|---|

問2 北海道の農業産出額の構成において、畜産の占める割合が5割を超え、米の割合を大きく上回っている理由として最も適切な説明はどれですか。（2016年 岩手県公立入試 類似）

- |                                    |                                       |                                    |                                      |
|------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 広大な土地を活かして、乳牛などの大規模な飼育が行われているため | 2. 冷涼な気候を活かして、米の生産に特化した大規模農業が行われているため | 3. 大消費地に近い利点を活かして、野菜の生産を最も重視しているため | 4. 平地が少ないため、傾斜地を利用した果樹栽培が盛んに行われているため |
|------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|

問3 北海道東部の太平洋側において、夏に発生する濃霧がもたらす低温や日照不足といった気候条件に適応するために、この地域で古くから発展してきた農業の特徴はどれですか。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）

- |                                     |                                     |                                    |  |
|-------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|--|
| 1. 冷涼な気候でも育つ牧草を利用し、乳牛を育てる大規模な酪農を行う。 | 2. 温暖な気候が必要な米の品種改良を進め、広大な平野で二毛作を行う。 | 3. 山地を切り開いて段々畑を作り、水はけを良くして果樹栽培を行う。 | 4. 夏の涼しさを利用して、東京などの大消費地向けにレタスなどの高原野菜を栽培する。 |
|-------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|--|

問4 北海道の自然環境における気温の分布について、一月の平均気温がマイナス十二度からマイナス三度の範囲であるのに対し、八月の平均気温は十八度から二十七度の範囲となっています。沿岸部にある稚内市役所付近の地点と、北海道で最も標高が高い地点を比較した際、特に夏季において平均気温に大きな開きが生じる主な要因として正しいものを次から選びなさい。（2016年 京都公立入試 類似）

- |                  |                    |                  |                   |
|------------------|--------------------|------------------|-------------------|
| 1. 標高の違いによる気温の変化 | 2. 暖流と寒流がぶつかる潮目の影響 | 3. 季節風（モンスーン）の遮断 | 4. 緯度の違いによる日照時間の差 |
|------------------|--------------------|------------------|-------------------|

問5 北海道の北東側に位置する海域では、冬季になるとシベリア沿岸から流れてきた氷が接岸し、一面が白く覆われる光景が見られます。この海域の名称と、押し寄せる氷の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2018年 山形公立入試 類似）

- |                |             |             |                |
|----------------|-------------|-------------|----------------|
| 1. オホーツク海 — 流氷 | 2. 日本海 — 流氷 | 3. 太平洋 — 樹氷 | 4. オホーツク海 — 樹氷 |
|----------------|-------------|-------------|----------------|

問6 北海道の東部に位置し、北方領土を間近に望むことができる岬の名称と、その周辺に広がる日本最大の湿原であり、タンチョウの生息地としてラムサール条約にも登録されている場所の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。（2021年 鳥取公立入試 類似）

- |              |             |                |             |
|--------------|-------------|----------------|-------------|
| 1. 納沙布岬と釧路湿原 | 2. 宗谷岬と釧路湿原 | 3. 納沙布岬とサロベツ原野 | 4. 知床岬と石狩平野 |
|--------------|-------------|----------------|-------------|

問7 冬の北海道において、流氷が地域の産業や生活に与えている側面について述べたものとして正しいものはどれですか。（2026年 愛知公立入試 類似）

- |   |  |  |  |
|---|--|--|--|
| 1. 氷を割って進む砕氷船の運航や流氷の上を歩く体験など、冬の貴重な観光資源として活用されている。 | 2. 海面が氷で覆われることで魚の回遊が促進されるため、冬の時期にオホーツク海での大規模な漁船漁業が最も盛んになる。 | 3. 流氷に含まれる豊富な塩分を精製して塩を作る工場が沿岸部に多く建設され、冬の主要な地場産業となっている。 | 4. 氷の重みを利用して港の海底を深く削り取る天然の浚渫（しゅんせつ）効果があるため、大型船の入港を助けている。 |
|---|--|--|--|

問8 世界自然遺産である知床半島を含む北海道の東部沿岸では、夏季に「海霧」と呼ばれる濃い霧が発生しやすい。この現象の要因となる「季節風」と「海流（親潮）」の関係を説明したものとして、最も適切なものはどれか。（2017年 愛知公立入試 類似）

- |   |  |   |   |
|---|--|---|---|
| 1. 太平洋からの暖かく湿った季節風が、寒流である親潮によって冷やされた海面の上を通ることで水蒸気が凝結するため。 | 2. 大陸からの冷たく乾いた季節風が、暖流である黒潮によって温められた海面から大量の水蒸気を供給されるため。 | 3. オホーツク海からの冷たい季節風が、親潮の影響で冷え切った陸地にぶつかり、上昇気流が発生して雲を作るため。 | 4. 南からの暖かく湿った季節風が、対馬海流の影響で温度が上昇し、空気中の水蒸気量が飽和状態に達するため。 |
|---|--|---|---|

## 答え合わせ・解説

- 
- 問1** **答え 1**  
**道県名は北海道であり、東京都からの移動距離が長い**ため、**所要時間の短い航空機が優先的に選択されている**から。
- 東京都から北海道への移動は、距離が非常に長く時間がかかるため、新幹線などの鉄道よりも高速な航空機が選ばれる傾向が顕著です。一般に、交通手段の選択においては「4時間の壁」と呼ばれる基準があり、鉄道（新幹線）での所要時間が4時間を超える場合、航空機のシェアが圧倒的に高くなります。新潟県や大阪府は東京都からの距離が比較的近く、鉄道（新幹線）の利用割合が高い地域であるため、提示された統計データには合致しません。
- 
- 問2** **答え 1**  
**広大な土地を活かして、乳牛などの大規模な飼育が行われている**ため
- 北海道の農業は、1戸あたりの耕地面積が非常に広く、機械化された大規模な経営が特徴です。特に、稲作が困難な地域も含め、広大な草地を利用した酪農（乳牛の飼育）が全域で盛んに行われているため、産出額に占める畜産の割合が突出して高くなります。「米の割合が高い」あるいは「野菜の割合が高い」といった他の地域の構成とは、土地利用の規模の面で大きく異なります。
- 
- 問3** **答え 1**  
**冷涼な気候でも育つ牧草を利用し、乳牛を育てる大規模な酪農を行う。**
- 道東の太平洋側では、夏の濃霧による日照不足や低温（冷害）の影響で稲作が困難でした。そのため、冷涼な気候でも育つ牧草を栽培し、それを飼料として牛を育てる酪農が発展しました。特に根釧台地などは、日本を代表する酪農地帯として知られています。
- 
- 問4** **答え 1**  
**標高の違いによる気温の変化**
- 一般に、標高が高くなるにつれて気温は下がるという性質があります。沿岸部に位置し標高が低い稚内市周辺と、北海道の屋根と呼ばれる大雪山系などの高標高地点を比較すると、この標高差が気温の差として明確に現れます。特に夏季の八月においては、全体の気温が高いため、標高による気温の低下が沿岸部との顕著な温度差となって示されます。
- 
- 問5** **答え 1**  
**オホーツク海 — 流氷**
- 北海道の北東部に面するオホーツク海では、冬になるとアムール川河口付近で凍った海水が風や海流に乗って南下し、流氷となって海岸に到達します。これに対し、日本海側は対馬海流（暖流）の影響を受けるため流氷は見られず、樹氷は山地の樹木に水分が凍り付く現象を指します。
- 
- 問6** **答え 1**  
**納沙布岬と釧路湿原**
- 北海道の最東端に位置する根室市の納沙布岬からは、歯舞群島などの北方領土を視認することができます。また、その西側に位置する釧路湿原は、かつての海が後退して形成された日本最大の湿原であり、絶滅危惧種であるタンチョウの繁殖地として国際的に重要な湿地であるため、ラムサール条約に登録され保護されています。
- 
- 問7** **答え 1**  
**氷を割って進む砕氷船の運航や流氷の上を歩く体験など、冬の貴重な観光資源として活用されている。**
- 流氷は船舶の航行を妨げたり漁業を一時的に休止させたりする側面もありますが、一方で北海道を象徴する「観光資源」としての価値が高まっています。網走や紋別での砕氷船ツアー、知床での流氷ウォークなどは、冬の北海道観光の大きな柱となっています。
- 
- 問8** **答え 1**  
**太平洋からの暖かく湿った季節風が、寒流である親潮によって冷やされた海面の上を通ることで水蒸気が凝結するため。**
- 北海道の東方沖には、北から流れてくる寒流の親潮（千島海流）が位置しています。夏、太平洋側から吹き込む暖かく湿った季節風が、この冷たい海面によって下から冷やされることで、空気中の水蒸気が細かい水滴（霧）となり、大規模な海霧が発生します。これが日照不足の原因となり、地域の農業に影響を与えることもあります。
-